

日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,086	2,785	457,065	654,874
患者登録者数	239	229	2,980	46,571
移植例数	117	107	—	18,920

■11 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,751 人
20 代	70,575 人
30 代	143,093 人
40 代	188,430 人
50 代	52,216 人

■11 月の 20 歳未満の登録者 223 人

■11 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／612 人、献血併行型集団登録会／2,078 人、集団登録会／53 人
 その他／42 人

■11 月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:136 件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 検体保存事業にかかる同意書の移譲について

検体保存事業は、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」における造血幹細胞提供支援機関の業務として規定されたことから、平成 27 年度より日本赤十字社（以下、「日赤」）が検体保存事業の実施主体となりました。（※）これに伴い、移譲した検体に関する「検体保存事業への協力の意思確認書」（同意書）を当法人から日赤へ移譲しました。

なお、日赤への移譲対象外の検体については、平成 27 年度から一般社団法人 日本造血細胞移植データセンターに移譲されましたが、当該検体に関する同意書は当面の間、当法人が管理します。

（※）日赤の検体保存事業の実施対象は平成 18 年度以降に保存された検体です。

2 豊島区が東京都 23 区で初のドナー助成制度を導入

東京都豊島区は来年 1 月より東京都 23 区で初めてドナーのための助成制度を導入します。豊島区の助成制度では提供ドナーが従事する国内の事業所も助成の対象としています。東京都では都内の区市町村がドナー助成制度を導入した場合、費用の半分を都が補助しており、今後の導入拡大が期待されます。また、京都府内の 5 市町が新たに助成制度を導入しました。助成制度を導入した自治体は全国で 122 自治体になりました。

制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。問い合わせ先一覧は当法人のホームページをご覧ください。

【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

○宇治田原町 ○京丹後市 ○城陽市 ○福知山市 ○八幡市 ※以上京都府

○東京都豊島区

3 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について（11/30 現在 90 施設）

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。

・採取施設

・移植診療科

横浜市立大学附属市民総合医療センター 同左 血液内科

新規認定施設については、当法人ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

4 「卒業・入学」チラシ配布の対象校を募集

ドナー登録は 18 歳から可能です。来春、高等学校を卒業する高校 3 年生や大学・短大・専門学校等に入学する新生を対象に、卒業式や入学式で骨髄バンクのチラシを配布していただける学校を募っています。ドナー登録可能年齢を迎えた卒業生や新生の方にチラシを読んでいただくことにより、一人でも多くのドナー登録が増えることを期待しています。

チラシの配布にご協力いただける場合は当法人広報渉外部（03-5280-8111）までご連絡ください。

5 読売巨人軍の骨髄バンク支援が今年で 10 年目に

11 月 23 日（月）に東京ドームで毎年恒例のファン感謝イベント「ジャイアンツファンフェスタ 2015」が開催されました。読売巨人軍から日本骨髄バンクに、チャリティーグッズの販売収益金などによる寄付金が贈呈されました。今年は巨人戦でのドナー登録会を東京ドームで 2 回、富山と金沢でそれぞれ 1 回ずつ開催しました。

6 プロ野球選手による病院訪問 ～野球選手が闘病中の子供たちを支援～

読売巨人軍の菅野智之投手と橋本到外野手、鬼屋敷正人捕手が 12 月 1 日（火）に神奈川県伊勢原市の東海大学医学部付属病院（小児科）を訪問し、院内学級のクリスマス会に参加するなど、入院中の子供たちと交流しました。同病院への訪問は、巨人軍が実施している骨髄バンク支援活動の一環として今年で 10 回目になりました。

また、12 月 10 日（木）に阪神タイガースの鳥谷敬選手が骨髄バンク支援として兵庫県神戸市の神戸大学医学部付属病院（小児科）を訪問し、闘病中の子供達と交流しました。

7 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会開催

■ 「ぐるなび 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」

「ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が 11 月 30 日（月）、戸塚カントリー倶楽部（神奈川県横浜市）で開催されました。今年は、第 10 回目となる記念大会で、女子プロゴルファー 29 名を含め、計 115 名が参加しました。

女子プロからの提供景品によるチャリティーオークションが開催され、収益金等が株式会社ぐるなびの久保社長から当法人へ寄付として贈呈されました。大会の様子はゴルフ専門チャンネル「ゴルフネットワーク」にて放映されます。詳細は、下記 URL をご参照ください。

<http://www.golfnetwork.co.jp/>

■ 「中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ」

12 月 3 日（木）に「第 9 回 中溝裕子骨髄バンクチャリティーコンペ」がセゴビアゴルフクラブ（茨城県かすみがうら市）で開催されました。女子プロゴルファー 18 名の他、計 105 名が参加しました。当ゴルフコンペは、当法人の評議員でもあるプロゴルファーの中溝裕子さんが、骨髄移植を受けた日に毎年開催しています。表彰式では多くの賞品が用意され、チャリティーオークションなどが行われました。また、中溝さんから骨髄バンクへの協力の呼びかけが行われました。

8 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	12月18日（金）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	12月20日（日）13：00～廣瀬第1ビル2階会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	1月22日（金）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 非血縁者間末梢血幹細胞移植における「ドナーが患者と HLA 遺伝子レベルで 8/8 一致であること」の条件緩和について＜移植医師、登録医師の方へ＞

非血縁者間 PBSCT における「ドナーと患者が HLA 遺伝子レベルで 8/8 一致であること」を、非血縁者間骨髄移植の条件と同様に「1 抗原不適合」のドナーもコーディネーター可能に変更します。

詳細は、別紙「非血縁者間末梢血幹細胞移植における『ドナーが患者と HLA 遺伝子レベルで 8/8 一致であること』の条件緩和について」をご参照ください。当法人ホームページ＞医師の方へ＞医師宛通知文でもご覧いただけます。

■ 変更日：12 月 18 日以降に確定（コーディネーター開始）したドナーから

10 末梢血幹細胞採取施設への通院可能距離の制限撤廃について

先月のマンスリーでお知らせしたとおり通院可能距離の制限を撤廃します。万一、ドナーに緊急対応が必要となった場合に、採取施設以外の認定施設で必要な医療処置を受けられるよう、施設連携を強化してまいります。

なお、2015 年 5 月 31 日までに実施された非血縁者間末梢血幹細胞採取 104 例の解析結果の資料は、当法人ホームページ＞医師の方へ＞調整医師・採取医師の方へ＞医師宛通知文でご覧いただけます。コーディネーター時にドナーの方にこの資料の内容を説明することは可能です。

■ 変更日

12 月 18 日以降のコーディネーター開始ドナーから、通院可能距離の制限を撤廃します。

なお、コーディネーター中のドナーについて、遡及して PBSCT を含むコーディネーターは行いません。ただし、同日以降に選定された末梢血幹細胞ドナーについて採取施設を決定する際、変更後の方針を適用することは可能とします。



11 総コレステロール検査の追加検査および適格性判定基準について

非血縁者間 PBSCT の条件緩和により、今後、PBSCT を含むコーディネートが増加することが予想されます。これを踏まえて、確認検査時に実施している総コレステロール検査の適格性判定を明確化するため、要検討となった場合は確認検査時の残検体を用いて追加検査を行い、適格性を判定することとしました。

下記および別紙をご確認のうえ、ご対応をお願いします。

■ドナー適格性判定基準

【現行基準】

確認検査時

総コレステロール (TC) $220\text{mg/dl} < , \leq 240\text{mg/dl}$ (要検討)

【新基準】

確認検査の結果、総コレステロール値が 221 mg/dl 以上 240 mg/dl 以下の場合、残検体を用いて HDL コレステロール、LDL コレステロールの検査を実施し、次の場合は、PBSC の提供は原則として 1 年間保留とする。

HDL-C 40mg/dl 未満 かつ LDL-C 140 mg/dl 以上は不適格

■変更日：

12 月 18 日確認検査結果取得分から

12 骨髄採取の術前・術中における予防的抗菌薬投与について 〈移植医師・採取責任医師・登録医師の方へ〉

骨髄移植術を受ける患者への影響がゼロでないことを踏まえ、予防的に骨髄採取の術前・術中にドナーに抗菌薬を投与する場合は、事前に採取担当医師から移植医師にその旨連絡することとしますので、別紙をご確認ください。

13 末梢血幹細胞採取時の採取針の前日留置を禁止〈採取責任医師の方へ〉

末梢血幹細胞採取時の骨髄バンクドナーに対して、両側前肘部の静脈への採取針を前日から留置することを禁止としますので、別紙をご確認ください。

14 骨髄バンクドナーの術前水分補給について〈採取責任医師の方へ〉

全身麻酔下手術では、麻酔導入時の嘔吐および誤嚥のリスクを回避するため、ドナーに長時間の絶飲食が行われていますが、公益社団法人日本麻酔科学会の術前絶飲食ガイドラインを遵守の上、年齢を問わず麻酔導入 2 時間前までの水分補給を可とすることとしますので、別紙をご確認ください。

**15 平成 28 年度調整医師再委嘱手続きについて＜調整医師の方へ＞**

調整医師の先生方へ、委嘱更新に関する書類を来年 1 月中旬以降にお送りします。施設長の承諾書をすみやかにご返送くださいますようお願いいたします。また、新たに調整医師として協力可能な先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネート部までご一報ください。申請書等は当法人ホームページ＞医師の方へ＞調整医師・採取医師の方へ＞調整医師の募集に関してからダウンロードすることもできます。

なお、調整医師の業務委託契約制度については、地区事務局またはドナーコーディネート部までお問い合わせください。

16 インフルエンザ流行拡大に関する対応＜コーディネーターの方へ＞

本年もドナーコーディネート部にインフルエンザ相談窓口を設置しました。詳細は添付資料をご確認ください。

17 家族のみ最終同意面談依頼の帳票変更のお知らせ＜コーディネーターの方へ＞

家族のみの最終同意面談依頼時の出力帳票について、個人情報保護の観点から、個人情報を記載した依頼票とコーディネーター受理確認票の 2 枚に分けることにしました。既に 11 月 25 日出力分から変更しています。詳細は添付文書をご参照ください。

18 年末年始の連絡事項**■ 年末年始の検体保存事業の受付＜移植施設・採取施設の医師の方へ＞**

年末年始の検体保存事業の検体の受付スケジュールは次のとおりです。なお、やむを得ず期限を過ぎる場合は、別途調整が必要になりますので、必ず東海大学医局担当までご連絡ください。その際、発送便の伝票番号も一緒にお知らせください。

＜年末＞ 12/18（金）までに東海大学必着

※北海道・九州地区は 12/16（水）までに、それ以外の地区は 12/17（木）までに発送をお願いします。

＜年始＞ 1/4（月）採血・発送分から受付可能

■ 年末年始の確認検査・再検査実施と SRL 予約＜コーディネーターの方へ＞

ドナーがすでに HLA（DNA）の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りをしますので、それに従って日程調整をお願いします。

＜年末＞ ①確認検査（検査項目：一般血液検査と HLA ビーズ法）⇒ 12 月 25 日（金）採血分まで

②確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒ 12 月 28 日（月）採血分まで

＜年始＞ ①確認検査、再検査 ⇒ 1 月 5 日（火）採血分から

＜SRL の予約＞

1 月 5 日～8 日採血希望の場合は、12 月 24 日（木）14：00 まで。